

新刊書のご案内

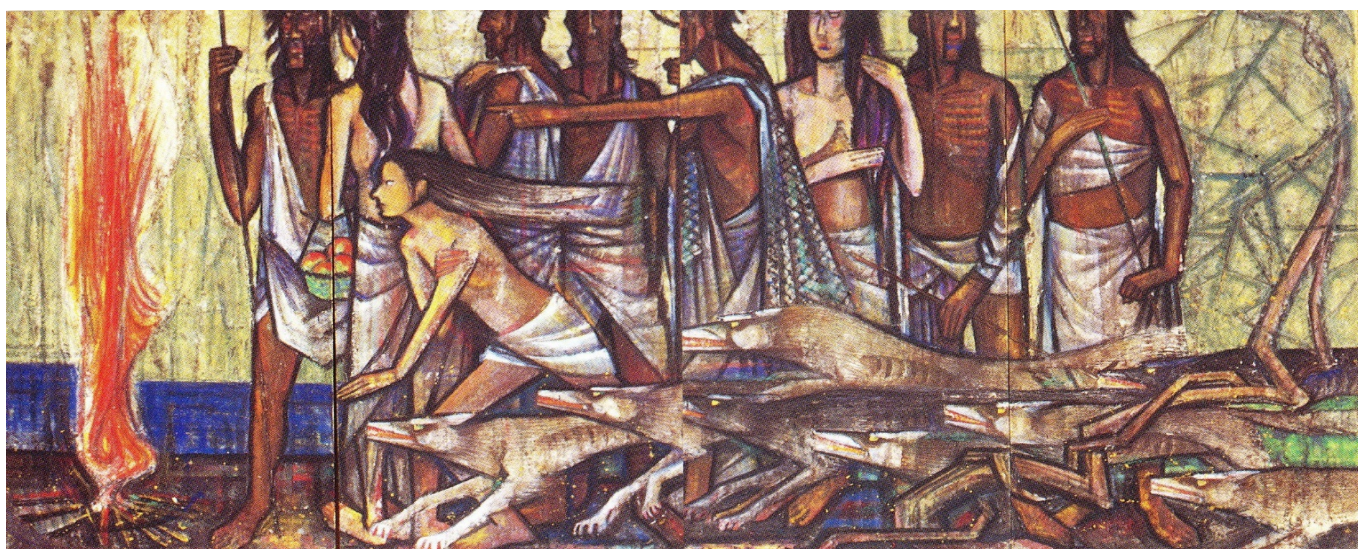
# 「路傍の日本画家 赤松燎の世界」

著者：鈴木靖之（名東高校元校長）他

発行日 平成30年7月30日

発行 書肆亥工房 1,200円

岡山市北区丸の内 1-1-15



「群」（昭和37年作 あすなろ展出品）

赤松燎の遺作数十点が寄贈された生誕地倉敷市の持寶院は、その業績を生前交流があった方々の声と共に末永く後世へ伝えようと、「路傍の日本画家 赤松燎の世界」を刊行しました。

全国に先駆け平成12年3月18日、名古屋市中川生涯学習センターで、「高台寺圓徳院襖絵と日本画家赤松燎」題して、弟子の志村正画伯が講演しました。こうした縁もあり、多くの赤松ファンがいる本県で、画壇から忘れ去られようとしている「赤松燎」を、再び表舞台へ引き出すために、本冊子を広く紹介させていただくことになりました。

## 赤松燎について

- 大正11年 倉敷市児島で生まれる
- 昭和22年 京都市立絵画専門学校で学ぶ
- 昭和28年 山口華楊に師事 晨鳥社入塾 日展などで活躍
- 平成7年 京都高台寺圓徳院の襖絵「白龍図」を制作
- 平成8年 逝去（行年73歳）